



私がこの課題の 代表者です

◇ 支援メニューはこちらを Click! ✓

D1-1 化合物スクリーニング実務支援 など



九州大学大学院薬学研究院長・薬学府長・薬学部長・主幹教授

Ohdo Shigehiro

1988 年愛媛大学大学院医学研究科博士課程修了、1989 年米国南カリフォルニア大学 薬学部研究員、2005年九州大学大学院薬学研究院教授、2014、2016、2020、 2022年同研究院長・学府長・学部長、2018年同副理事、2021年主幹教授

趣味:水泳、ジョギング

受賞:臨床薬理研究振興財団賞、学術振興賞、日本薬学会賞、文部科学大臣表彰



今まで主に取り組んできた研究

世界の先駆けともいえるクロノケミカルバイオロジー技術(従来の化合物と生 体反応の研究に「時間」という視点を取り入れた新しい学問領域)を駆使 して、化合物による時計遺伝子の障害、操作、診断技術の構築に成功した。

現在の取り組み、特に関心のある分野・研究

薬の効き方や薬の動き方に関わるタンパクと薬の相互作用のリズム を体内時計の分子機構の側面より解明、体系化し、時間創薬及び 時間育薬の技術を開発すること。

九州大学大学院薬学研究院・教授

にしだ もとひろ

Nishida Motohiro

◇ 支援メニューはこちらを Click! /

D1-4 疾患モデルマウスによる薬効評価支援(循環器)など

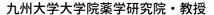
2001年東京大学大学院薬学研究科博士課程修了、2001年自然科学研究機構生理学研究所・助教、2003 年九州大学大学院薬学研究院講師、2006年同研究院·准教授、2013年自然科学研究機構生理学研究所· 教授、2016年九州大学大学院薬学研究院・クロスアポイントメント教授(2020年より主務) 趣味:水泳、飲みにケーション、受賞:文部科学大臣表彰、西日本文化賞、薬理学会学術奨励賞、酸化スト レス学会学術賞、臨床薬理研究振興財団賞、毒性学会日化協LRI賞。

今まで主に取り組んできた研究

筋萎縮性疾患の原因となる病態特異的タンパク質間相互 作用を同定し、それを選択的に阻害する既承認薬や人工 合成ペプチドを見出してきた。

現在の取り組み、特に関心のある分野・研究

硫黄原子が複数連なって形成される超硫黄分子の心臓の 頑健性維持における寄与を明らかにし、硫黄循環・代謝 を軸にした革新的な医療基盤技術を開発している。



つだ まこと

津田 誠 先生

Makoto Tsuda

ポスドクから痛みの基礎研究を開始する。その後、グリア細胞の重要性を明らかにし、その インパクトに魅了され、グリア細胞に注目した疼痛研究を行っている。最近では、かゆみや 触覚にも興味をもち研究している。



小柳 悟 先生

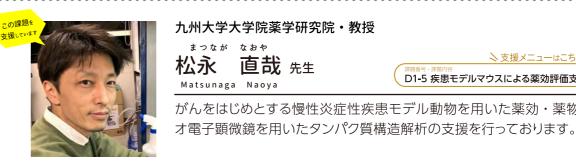
◇ 支援メニューはこちらを Click! //

D1-3 疾患モデルマウスによる薬効評価支援(慢性疼痛・掻痒モデルでの解析)

Satoru Koyanagi

◇ 支援メニューはこちらを Click! / D1-6 薬物動態解析支援 (in vivo)

主に薬物動態解析での支援・高度化を担当。専門領域は時間薬剤学・時間治療学。



九州大学大学院薬学研究院・教授

まつなが なおや 松永 直哉 先生

Matsunaga Naoya

D1-5 疾患モデルマウスによる薬効評価支援 (がんモデルでの解析) など

がんをはじめとする慢性炎症性疾患モデル動物を用いた薬効・薬物動態解析および、クライ

九州大学大学院薬学研究院・教授

カアベイロ ホセ

◇ 支援メニューはこちらを Click! / D1-7 タンパク質の相互作用解析 など 🔪



CAAVEIRO Jose 先生

Ph.D. in Science, UPV/EHU (Spain) 2000, MIT and Brandeis U. (2000~07), The University of Tokyo (2008~17), Kyushu University (2017~). Professor since 2022. Please visit us at http://global.phar.kyushu-u.ac.jp.





九州大学大学院薬学研究院•講師

浩太 先生 真柳

Kouta Mayanagi

◇ 支援メニューはこちらを Click! /

D1-8 タンパク質クライオ電子顕微鏡構造解析支援

単粒子解析の黎明期を知る者からすると、現在までの驚くべき発展は当時全く想定できており ませんでした。本拠点に最新のクライオ電顕が導入されて1年、なるべく使いやすい環境に整 えていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

九州大学大学院薬学研究院 創薬構造解析学分野・講師

◇ 支援メニューはこちらを Click! /

D1-1 化合物スクリーニング実務支援

やました ともひろ 智大 先生 Tomohiro Yamashita

12 年間にわたるアカデミア創薬と医薬品候補化合物創出の経験を活かし、ハイスループッ トスクリーニングやアッセイ系構築などの技術を駆使して、独創的な創薬シーズの発見に貢 献させていただきます。



